

2025年度 JKA補助事業に関する報告書(福祉機器の整備)

1 事業名

2025年度 福祉機器の整備 補助事業

2 実施内容及び成果

(1) 実施内容

平成16年から事業開始を行ったユニット型特養の特殊浴槽が経年劣化による不良と年数の経過により、故障時の部品の供給が難しい状況であった。また平均要介護度が3.9と重度化している現状において、入れ替えにより身体的負担の少ない入浴の提供を目的とし、特殊浴槽一式（スカイコートSB5000Ci・フラット担架SB7300N・電動コンパクトストレッチャーSB7450N・電動昇降シャワーチェアSB7100N）の整備を行った。

(2) 成果

座位式と寝浴とが同じ特殊浴槽で入浴できることで、利用できる方の幅が広がった。寝たきりの方の入浴時に以前に比べ、胸までの入浴がしっかりとできるようになり、満足感につながっている。

職員にとっても、ストレッチャーなどを電動式としたことで、移乗時な負担軽減につながっている。

3 今後予想される効果

職員については、介護負担の大きい入浴介助の場面で、電動により高さの調整ができるようになったのは負担軽減につながっており、より負担の少ない介護を提供している現状を法人のホームページなどでしっかりと広報していきたい。

人口減少が進む地域の中で、特養が持つ特浴などの機器を地域開放することで、障害福祉に対しても貴重な社会資源となりうると考えており、今後の課題としたい。

4. 決算表

(単位:円)

費目 節	原予算額		支出額	
	補助対象経費	補助金	事業費総額	補助金
物件費	7,730,000	5,797,000	7,895,250	5,797,000

5. 事業内容についての問い合わせ窓口

特別養護老人ホーム 優・悠・邑 施設長 水野 貴子

特別養護老人ホーム 優・悠・邑 副施設長 吉田 篤

電話連絡: 0584-43-3155

Mail: yu-yu-yu@viola.ocn.ne.jp

6. 機器の写真



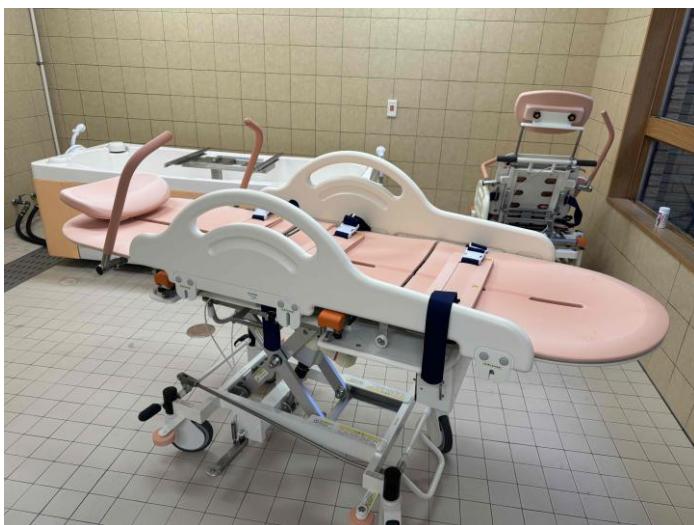
新館玄関先に補助事業標識の設置



スカイコート(SB5000Ci)



使用時の状態



電動コンパクトストレッチャー
(SB7450N)
フラット担架(SB7300N)



電動昇降シャワーチェア(SB7100N)